

メールマガジンについて

ボランティアセンターでは、学生に広くボランティアセンターの存在を周知し、ボランティア情報を始めとする情報の提供ツールとして、メールマガジン「MG☆ボラマガ」を2006年12月から配信している。

配信日は原則として毎月1日であるが、8月と9月は合併号として配信し、その他臨時号を2回配信した。2007年4月～2008年1月現在までの配信数は12回である。登録は現在のところ、明治学院大学に在籍する学生及び教職員に限っており、2008年1月現在、登録者数は272名（学生249名、教職員23名）である。一年前の登録状況に比べると、全体で60名（学生名57、教職員3名）増加した。登録ページは、明治学院大学学生専用ポータルサイト（通称ポートヘボン）にリンクされており、学外者は登録できない仕組みになっている。また、登録ページで配信キャリア（パソコンアドレスか携帯アドレス）を選択できるので、「MG☆ボラマガ」もパソコン用原稿と携帯用原稿を作成し、それぞれの登録者へ配信している。コンテンツは主に、1）新着ボランティア情報（主にボランティアセンターへ新規に登録した団体）とVIS（ボランティア情報システムの略称、詳しくは本書“ボランティア募集团体への取り組み”を参照）の広報、2）ボランティアセンター主催企画&イベント情報、3）学生スタッフマガジン（学生スタッフが記事を担当）、4）ボランティアセンター主催プログラム参加学生のコメント（学生が記事を担当）、5）おまけページ（オリジナル写真とコメント）、という構成になっている。今年度はさらにボランティアセンター主催のプログラムに参加した学生や、企画に関わった学生たちのその後の動向や彼らの活動の発信と広報を毎号含め、字数が多い場合は臨時号を発行した。

毎号試行錯誤を重ねながらその時の旬の情報を提供できるように努力している。発行を開始した前年度に比べ、今年度は学生のための「MG☆ボラマガ」になることを特に意識した。具体的には、上述のように、できるだけ幅広い分野と立場で活躍、もしくは活躍予定である学生たちの生き生きとした生の声を伝える欄を設けたことが挙げられる。ただ受信するだけの立場だった学生が、このように発信する立場に立つことによって「自分のメールマガジン」という意識に目覚め、自分自身の広報媒体としてMG☆ボラマガを活用することが、友人・知人への登録呼びかけにもつながったと考える。登録者数は本学の学生数から考えるとまだまだ少ないが、学生間の口コミが登録数増加に大きな役割を果たし、前年度に比べて学生の登録数が2割増えた。実際、12月に開催の学生主催イベントの広報をした12月号と臨時号の配信直前の11月は、今年度秋学期期間中（2007年9月～2008年1月現在まで）で最も新規登録者が多かった。

今後は、さらに「学生による学生のためのMG☆ボラマガ」作りを目指すとともに、①登録者数の増加、②学生の意見をすくいあげる工夫とその反映が課題であると考えている。

(李)